報道関係者各位

日本化粧品工業会、環境省「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業
(業界団体・企業群支援)」に採択

発行日:2025年7月28日

発行元:日本化粧品工業会

このたび、日本化粧品工業会(所在地:東京都港区、会長:魚谷 正彦)は、環境省が推進する「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業(業界団体・企業群支援)」において、参加団体として採択されましたことをお知らせいたします(https://www.env.go.jp/press/press_04998.html)。

消費者が積極的に脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会を実現するためには、製品・サービスのライフサイクル全体における温室効果ガス排出量(カーボンフットプリント:CFP)の「見える化」を進める必要があります。本事業は、各業界における業界団体または企業群による CFP の算定・表示ルール の共通化を目的としています。

当会は、本事業の目的に賛同し、以下の会員企業とともに本事業に参画いたします。

- 株式会社コーセー
- 株式会社I-ne
- 花王株式会社
- 牛乳石鹸共進社株式会社
- 株式会社資生堂
- 株式会社ファイントウデイ
- 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

当会は本取り組みを通じて、化粧品事業者が自らの排出量を把握し、削減に向けた具体的な行動を取るための基盤を整備してまいります。そして、環境負荷の低減と品質の両立を追求することで、持続可能な社会の構築と、消費者に信頼される製品づくりを推進してまいります。さらに、今後も、業界の未来を見据え、国際的な環境課題への積極的な対応を通じて、持続可能な価値創造にも取り組んでまいります。なお、本事業の詳細については、上述の環境省の公式プレスリリースをご参照ください。

【日本化粧品工業会について】

日本化粧品工業会は、1959年7月設立の日本化粧品工業連合会から2023年4月に改組しました。主な活動は、日本の化粧品産業のグローバル競争力強化、品質・信頼性向上、海外団体との交流、サステナビリティへの貢献など多岐にわたります。1,654社(2025年4月現在)の会員企業が加盟しており、化粧品産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とし、会員企業への研修・教育機会提供も行き、業界全体の成長を目指します。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本化粧品工業会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目1番5号メトロシティ神谷町6階

担当: サステナビリティ推進部/原田 TEL: 03-5472-2530 FAX: 03-5472-2536

Email: d_sustainability@jcia.org URL: <https://www.jcia.org/>

以上